

<論文>

保育者と保護者の関係と関連要因

—鳥取県八頭町における質問紙調査をもとに—
大谷直史, 奥野隆一

Relationship and Relevant Factors of Childcare Workers and Parents -The Report Based on the Questionnaire Survey in Yazu-cho, Tottori Prefecture- OOTANI Tadasi, OKUNO Ryuichi

キーワード：質問紙調査，保育者，保護者，鳥取県八頭町

Key words: Questionnaire Survey, Childcare Workers, Parents, Tottori Prefecture

1. はじめに

本論文は，鳥取県八頭町の保育士が主体となって行った質問紙調査をもとに，保育者と保護者の考え方の違いを明らかにすることを目的とする。調査自体は，保育士集団がこれまでの保育の総括と今後の方針を確認するために行われたのであるが，その調査の網羅性を鑑み，その集計結果，とりわけ保育者と保護者の関係性に焦点をあてて分析することとした。

保育者と保護者の関係は，保育内容や保育条件にかかわって，対立関係で語られることもある。たとえば本調査でも詳細な設問のある朝食や睡眠の問題について，保育者の思いと保護者の思いがすれ違うことはしばしばで，保育者が保護者に対してどのように支援すればよいかの難しいということがある。多忙なかでは保育者と保護者の話し合う機会が少なく，保育者は保護者が何を望んでいるのか，知識や技能の習得なのかしつけなのか分からない。子どものためによかれと思って食事や睡眠のアドバイスをするが，家事と仕事に追われる保護者にとっては，お説教としてしか受け止められない。

こうした問題の根底には，保育者と保護者の相互不理解という状況があるのではないかというのが，本分析の問題意識である。相互不理解があるとすれば，それはどのような水準のどのような内容なのか。たとえば規範的な保育者とそうでない保護者というステレオタイプな見方の妥当性，そもそも子育てに対する考え方や価値観が異なっている可能性等を検討し，相互不理解の要因を明らかにすることを目的とする。

調査概要は以下の通りである(なお単純集計表を文末に掲載しているので適宜参照されたい)。

調査期間：2011年7月

調査対象：鳥取県八頭町の保育所計12ヶ所に勤務する保育士138名(有効回答130名，有効回答率94.2%)及び利用保護者462名(有効回答392名，有効回答率84.8%)

調査方法：自記式質問紙，各保育所を通じて配布・回収

なおこうした本報告の性格上，議論を普遍化して語ることの危険性，とりわけ本調査は鳥取県八頭町を対象としていることには注意を要する。

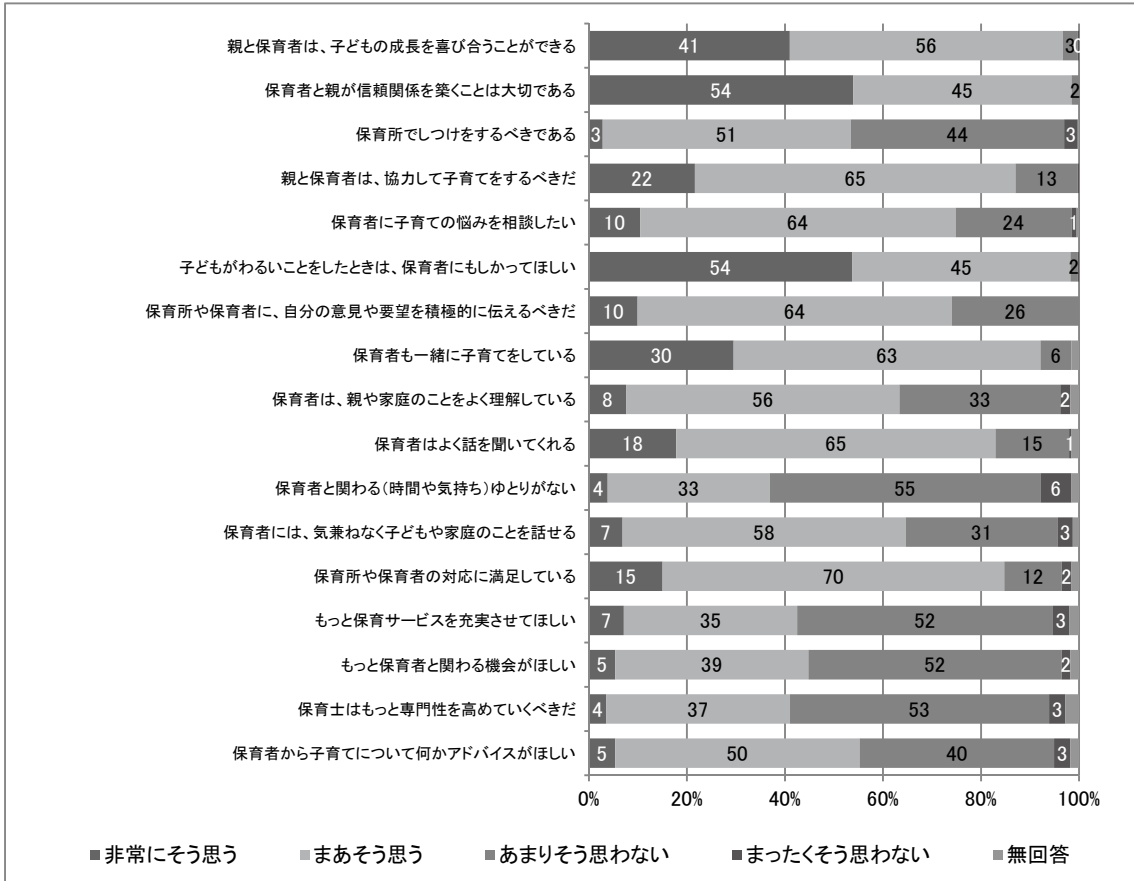


図 1. 保育者と保護者の関係 (保護者)

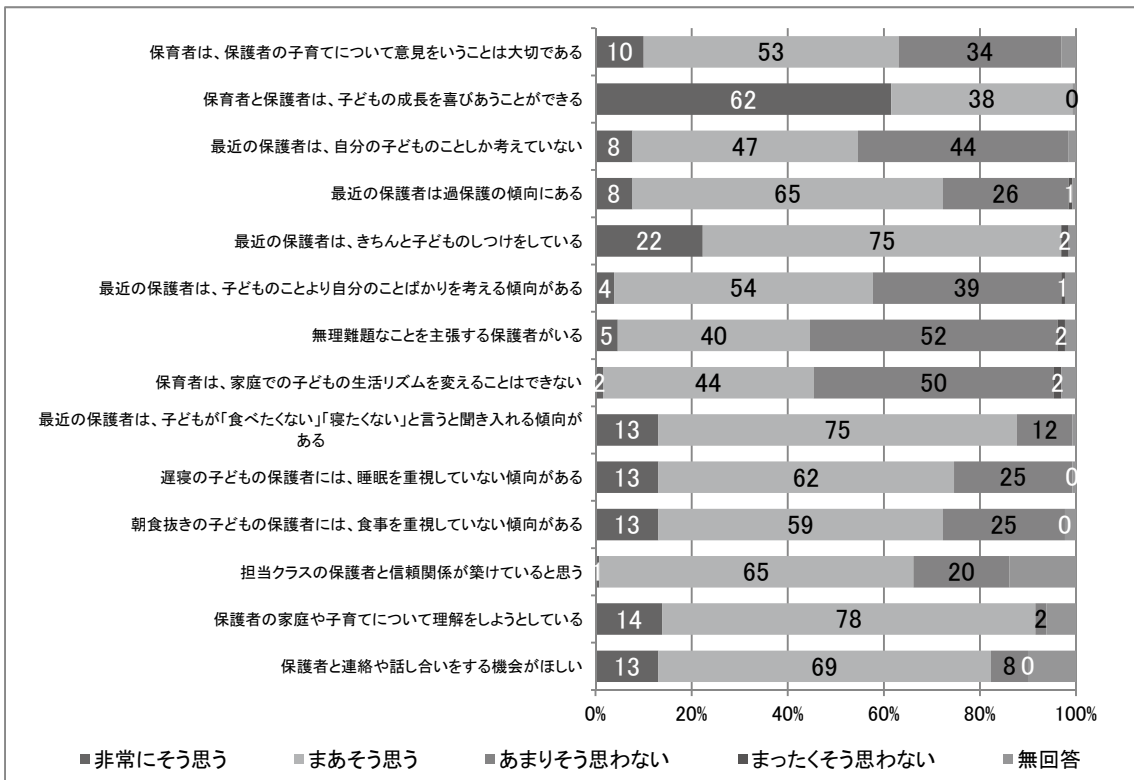


図 2. 保育者と保護者の関係 (保育者)

2. 保育者と保護者の関係

まずは、保育者と保護者の関係性(に対する考え方)により保護者を類型に分けて検討する。使用する設問の単純集計は図1, また保育者に対する同様の設問の結果は図2の通りである。

保育者と保護者の関係についての項目からは、保育所での一定の協同関係が必要であると保護者・保育士双方が考えていることがうかがわれる。「親と保育者は、子どもの成長を喜び合うことができる」(保護者「非常にそう思う」41%, 保育者「非常にそう思う」62%), 「親と保育者は、協力して子育てをすべきだ」(保護者「非常にそう思う」22%)といった項目は一定の協同関係を目指す意思が現れている。「一定の」というのは、「保育所でしつけをするべきである」という考え方の賛否が分かれているためである。保育者の設問「保育者は、保護者の子育てについて意見をいうことは大切である」についても肯定が63%, 否定が34%と分かれている。保育者・保護者それぞれが互いに対してどこまでを要求するのか、その境界線が揺れているのである。

保護者に関わる多くの項目で、保育士との関係は積極的に構築していくべきものであり、現状では一定程度達成されているという評価がなされている。ただし保育サービスの充実や保育者に関わる機会、保育者の専門性、アドバイスなどの要望は、4~5割程度の保護者が欲していることから、満足しつつも要望を抱えていることがうかがわれる。

保育者は保護者の子育てを評価しているのであるが(「最近の保護者は、きちんと子どものしつけをしている」に対して肯定は97%), 一方で睡眠や食事については評価していないという一見矛盾した評価を下している。やはり保育者にとっては、どこまで家庭に介入していくべきなのか、その境界線の確定が課題となっている様子がうかがわれる。

表1 保育士と保護者の関係(保護者) 因子分析

	満足因子	協同因子	要望因子	
保育者には、気兼ねなく子どもや家庭のことを話せる	0.798	-0.16	0.097	
保育者はよく話を聞いてくれる	0.719	0.070	-0.040	
保育者は、親や家庭のことをよく理解している	0.701	0.039	0.083	
保育所や保育者の対応に満足している	0.660	0.056	-0.170	
保育者と親が信頼関係を築くことは大切である	0.007	0.705	0.011	
親と保育者は、協力して子育てをすべきだ	-0.060	0.614	0.188	
親と保育者は、子どもの成長を喜び合うことができる	0.203	0.538	-0.120	
子どもがわるいことをしたときは、保育者にもしかってほしい	-0.040	0.535	-0.070	
保育者も一緒に子育てをしている	0.209	0.502	0.003	
保育所や保育者に、自分の意見や要望を積極的に伝えるべきだ	-0.210	0.420	0.199	
もっと保育者に関わる機会がほしい	0.123	0.048	0.685	
もっと保育サービスを充実させてほしい	-0.150	-0.040	0.656	
保育者から子育てについて何かアドバイスがほしい	0.310	0.000	0.588	
保育士はもっと専門性を高めていくべきだ	-0.100	-0.070	0.536	
保育所でしつけをするべきである	-0.080	0.119	0.285	
因子相関行列	1	1.000	0.540	-0.155
	2	0.540	1.000	0.154
	3	-0.155	0.154	1.000

因子抽出法: 主因子法 回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

保護者の因子分析(表1)からは、「満足因子」「協同因子」「要望因子」の3因子が抽出された。この3因子をもとにクラスタ分析を行い、4つのクラスタを得た(図3)。第1クラスタは、満足度・協同意識が高く要望の少ない「満足層」である。第2クラスタはその逆で満足度・協同意識が低く要望の多い「不満足層」である。第3クラスタも要望が多いが協同意識も高く、もっと積極的に関わっていきたいとする意識の表れとして「期待層」とした。第4クラスタはすべてにおいて低い「無関心層」である。

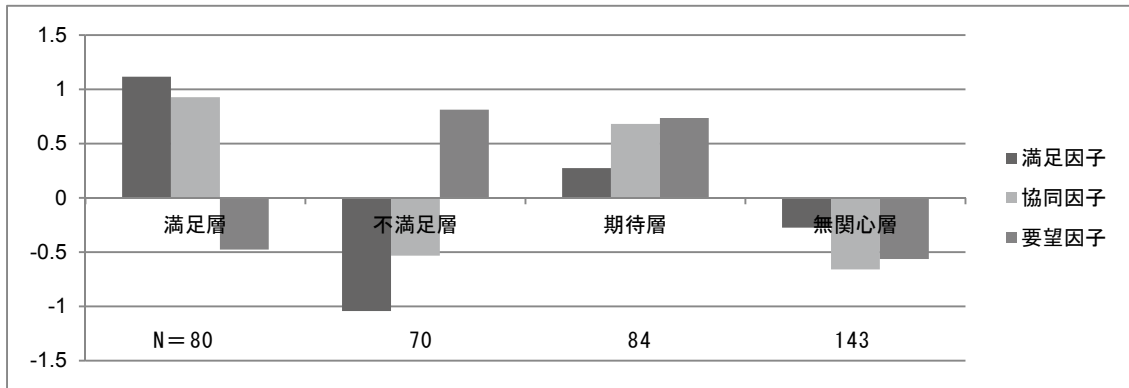


図3 保育士と保護者の関係（保護者）クラスタ分析

しかし、不満足であったり無関心であったりすることは、社会的・経済的な諸条件故でもある。表2・3・4はそれぞれ年齢・雇用形態・子ども数との関連を示したものであるが、不満足層と無関心層の年齢が低く、子ども数が多いことが分かり（雇用形態は関係ない）。子育てに対する経験の少なさや育児の負担の大きさが関係性に影響している可能性を示している。

表2. クラスタ別年齢 (%)

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	無回答	総計
満足層	4	11	29	43	13	1	100
不満足層	4	16	39	33	9	0	100
期待層	2	15	24	46	11	1	100
無関心層	6	16	34	29	14	1	100
総計	5	15	31	37	12	2	100

表3. クラスタ別雇用形態 (%)

	正規職員	非正規職員	その他	無回答	総計
満足層	43	39	5	14	100
不満足層	44	40	9	7	100
期待層	42	35	2	21	100
無関心層	42	38	3	17	100
総計	43	37	4	16	100

表4. クラスタ別子ども数 (%)

	1人	2人	3人	4人以上	無回答	総計
満足層	41	39	19	1	0	100
不満足層	29	50	19	1	1	100
期待層	37	38	20	4	1	100
無関心層	30	45	22	3	0	100
総計	35	42	20	3	1	100

また育児の負担感を規定すると考えられる指標として、3つの設問——「保育所以外で、気軽にお子さんを預けることができる方がいますか（複数回答）」、「あなたは、子育てのしかたやしつけなどについて相談できる人や機関がありますか（複数回答）」、「あなたは、普段はお子さんや子育てのことについて、誰かと話をすることがありますか（複数回答）」——それぞれを得点化（人や機関1つにつき1点）し、クラスタごとに一元配置分散分析を行ったのが表2である。

満足層と不満足層の間ではすべての項目で有意に満足層の得点が高いことが分かる。子どもを預けたり、相談したり、話をしたりする関係性を持ちえない人ほど、保育所に対して不満を表明している、また期待していることが分かる。

表5 人間関係に関する得点 (保護者クラス別)

預け得点 (「保育所以外で、気軽にお子さんを預けることができる方がいますか」)				
	n	平均値	標準偏差	F=2.468 Bonferroni で有意なペア
満足層	80	1.92点	0.813	不満層
不満層	68	1.54点	0.695	満足層
期待層	83	1.80点	0.954	
無関心層	143	1.77点	0.912	
相談得点 (「あなたは、子育てのしかたやしつけなどについて相談できる人や機関がありますか」)				
	n	平均値	標準偏差	F=8.033 Bonferroni で有意なペア
満足層	80	3.96点	1.782	不満層・無関心層
不満層	68	2.83点	1.393	満足層・期待層
期待層	83	3.63点	1.429	不満層
無関心層	143	3.19点	1.588	満足層
話得点 (「あなたは、普段はお子さんや子育てのことについて、誰かと話をすることがありますか」)				
	n	平均値	標準偏差	F=4.305 Bonferroni で有意なペア
満足層	80	3.39点	1.626	不満層
不満層	68	2.55点	1.430	満足層
期待層	83	2.80点	1.350	
無関心層	143	3.07点	1.603	

図4はクラスごとの保育所への期待の内容である。満足層と期待層はほぼ同じ傾向を示し、不満層と無関心層がほぼ同じ傾向を示すことが分かる。とりわけ満足層と不満層で分かれるのが、「保育者は、家庭のことを同じ目線で考えてくれていると思う」という項目で、満足層では41%が「非常にそう思う」と答えているのに対し、不満層では46%が「あまりそう思わない」、11%が「全くそう思わない」と答える。また、無関心層は「保育所は、親の要望に応えるべきである」との問いに否定的に回答する傾向が最も高い。

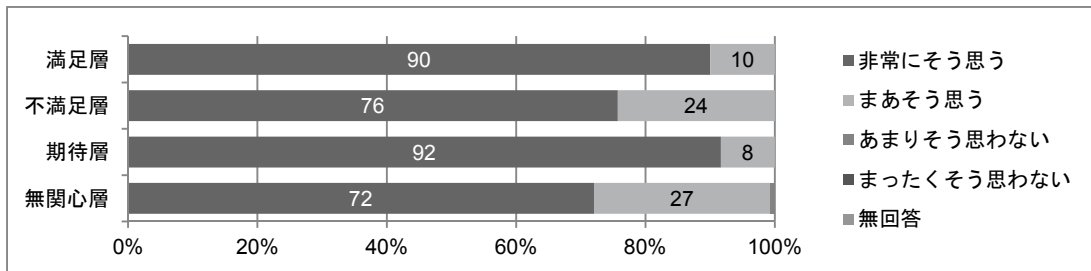


図4 「保育所で、子どもに思い切り活動をしてほしい」

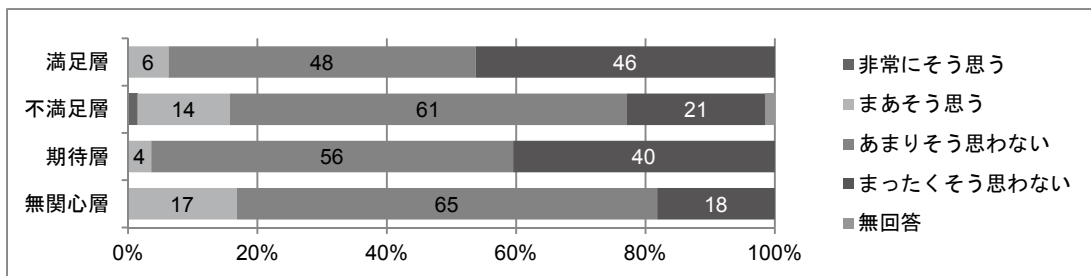


図5 「保育者には、家庭での睡眠や朝食のことに口出しされたくない」

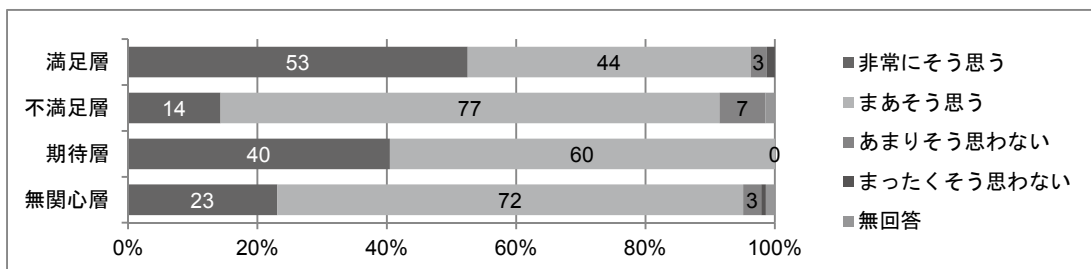


図6 「保育者に、子どもの生活リズムに関することを言われたら、直そうという気持ちになる」

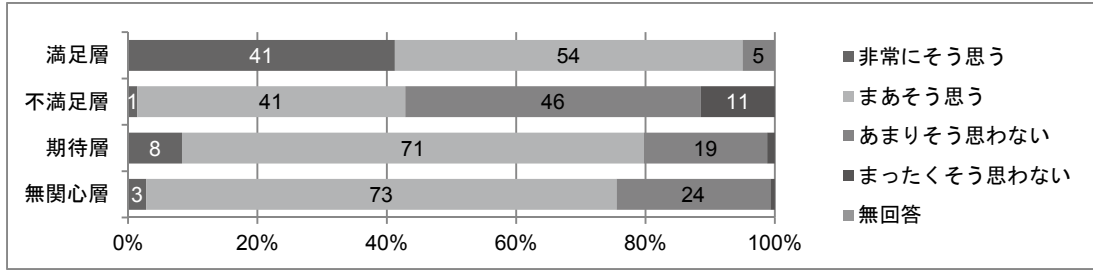


図7 「保育者は、家庭のことを同じ目線で考えてくれていると思う」

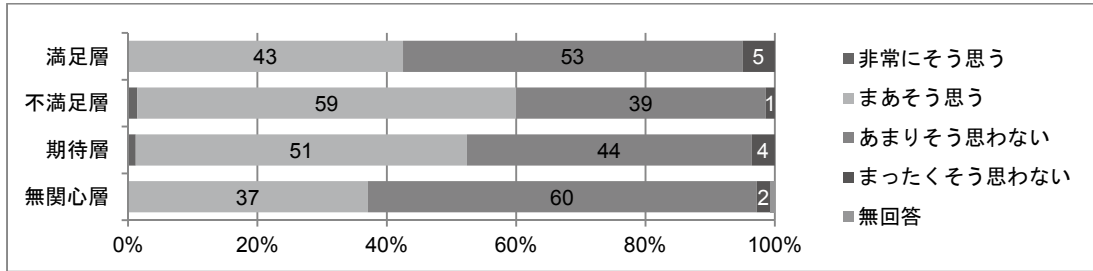


図8 「保育所は、親の要望に応えるべきである」

これらの結果が示していることは、第1に保育者の保護者への働きかけは、対象である保護者の考え方（クラス）によって異なる効果を生じさせるということである。実際には相手によってやり方を工夫することもあるだろうが、少なくとも同じような働きかけ方では、とりわけ不満足層や無関心層に対して効果的ではないことが予想される。第2に、同じく保育者にとっては否定的な傾向のある不満足層と無関心層であるが、この2者はその名の通り保育者への期待という点で大きく異なることである。不満足層が、不満ながらも何らかの期待感を抱いているのに対し、無関心層ではもはや同じ目線で考えてくれることや要望に応えることを要求することもない。不満足層は親身な関わりを求め、無関心層はまったく逆に求めているということに留意する必要がある。

3. 保育者と保護者の考え方

ここでは子どもに対する規範という視点から保育者と保護者の共通点・相違点を探る。図9・図10の設問を睡眠に関わるものを寝規範得点、朝食に関わるものを朝食規範得点として単純合計した値を、保育者と保護者、保護者のクラスごとに比較してみる。まず保育者の寝規範平均得点は17.1点（標準偏差：2.00）で、保護者平均得点が16.6点（標準偏差：2.18）と有意差はない（表6）。また食規範平均得点は、保育者25.3点（標準偏差：2.49）、保護者25.0点（標準偏差：2.67）と、こちらも有意差は検出されない（表7）。つまり通常考えられるよう、保育者の方が保護者一般よりも規範意識が高いわけではないのである。

しかし保護者のクラス間の平均値を比較した場合、いずれも満足層・期待層が不満足層・無関心層に対して有意に高いという結果がでた。そして保育者の平均点はそれぞれの間位置することが分かる。もともと保育者と保護者の規範意識が変わらないのか、あるいは保育者が様々な保護者と接するなかで規範意識を保護者の中間に設定してしまっているのか、その理由は分からない（保育者のサンプル数が少ないため）。そして次に見るよう、子育てに対する考え方や認識については違いを見せている。

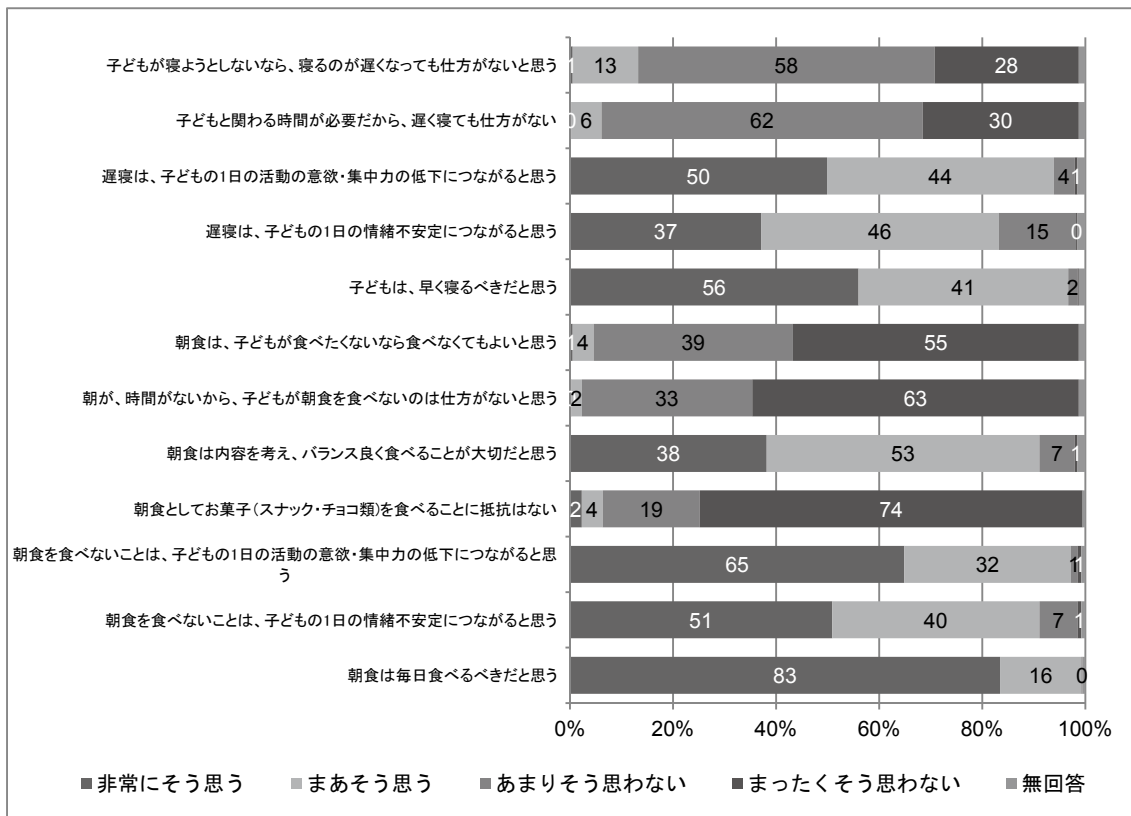


図9 子どもの生活に対する考え方 (保護者)

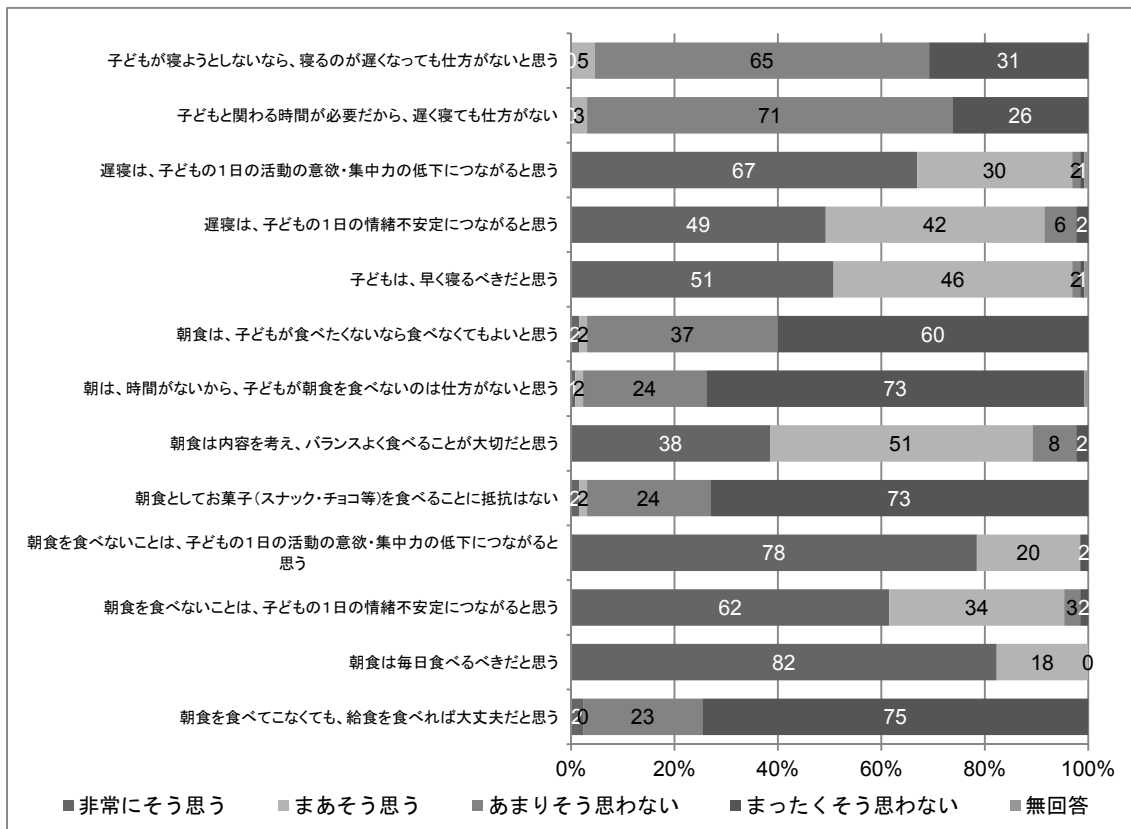


図10 子どもの生活に対する考え方 (保育者)

表 6 寝規範得点（保護者クラスター別）

	平均値	標準偏差	F=15.050 Bonferroni で有意なペア
満足層	17.5 点	1.848	不満層・無関心層
不満層	15.8 点	2.066	満足層・期待層
期待層	17.4 点	1.940	不満層・無関心層
無関心層	16.1 点	2.253	満足層・期待層

表 7 食規範得点（保護者クラスター別）

	平均値	標準偏差	F=14.975 Bonferroni で有意なペア
満足層	26.0 点	1.945	不満層・無関心層
不満層	24.5 点	2.631	満足層・期待層
期待層	26.0 点	2.145	不満層・無関心層
無関心層	24.1 点	2.921	満足層・期待層

次に具体的な規範に関する設問，ここでは遅寝に関する認識について確認しておく。表 8 の通り，保護者のクラスター間ではやや認識がことなるものの，全体として見た場合保育者と保護者に分布の差はない。ここで「子ども」の年齢を指定してはいないため，「午後 10 時以降」が半数近くを占める回答の規範の適否は議論することができない。ただ保護者と同様に保育者のなかでも規範意識の差があることが示唆される。

表 8 子どもの「遅寝」は，何時以降のことだと思いますか

	午後 8 時以降	午後 8 時半以降	午後 9 時以降	午後 9 時半以降	午後 10 時以降	午後 10 時半以降	午後 11 時以降	無回答	総計
保育者	1	3	18	26	42	8	2	0	100
保護者	1	3	19	23	43	8	3	1	100
満足層	1	3	14	28	43	10	3	0	100
不満層	0	1	21	27	39	9	3	0	100
期待層	0	4	25	19	42	7	4	0	100
無関心層	1	3	15	21	51	6	3	0	100

4. 保育者と保護者の違い

「育児・子育ての責任は母親が中心に担うべきである」「男性は仕事，女性は育児に専念する方がよい」「子どもは 3 歳になるまで育児に専念するのがよい」といった男女の分業を肯定する項目に対しては，保護者・保育者ともに否定的な考えを持っていることが分かる（図 11，12）。一方で「父親も家事や育児に積極的に参加すべきである」「家庭で協力して子育てをすべきである」という父母の協働に関する項目については肯定的な回答が多くを占める。保育者と保護者を比べると，保育者の方が男女平等の考えを持ち，3 歳児神話に否定的で，子どもに配慮した回答をする傾向がある。

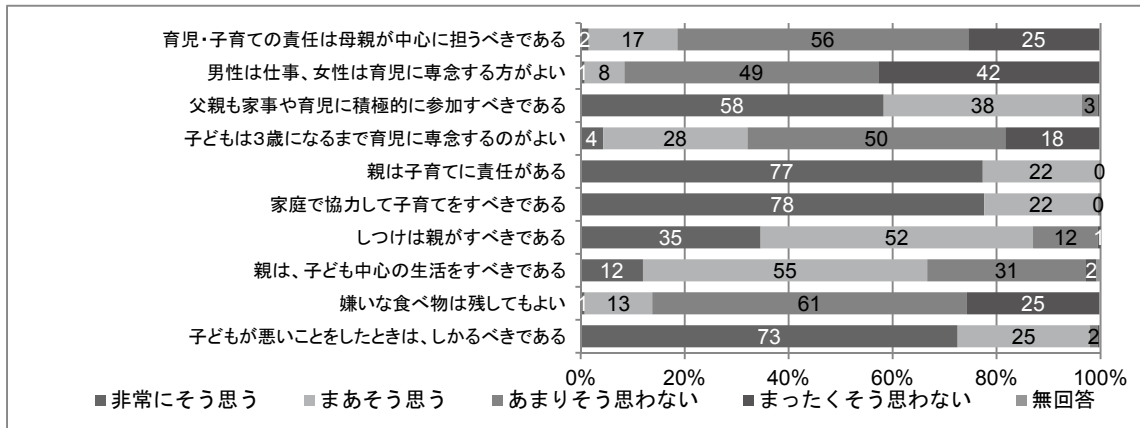


図 11 子育ての考え方（保護者）

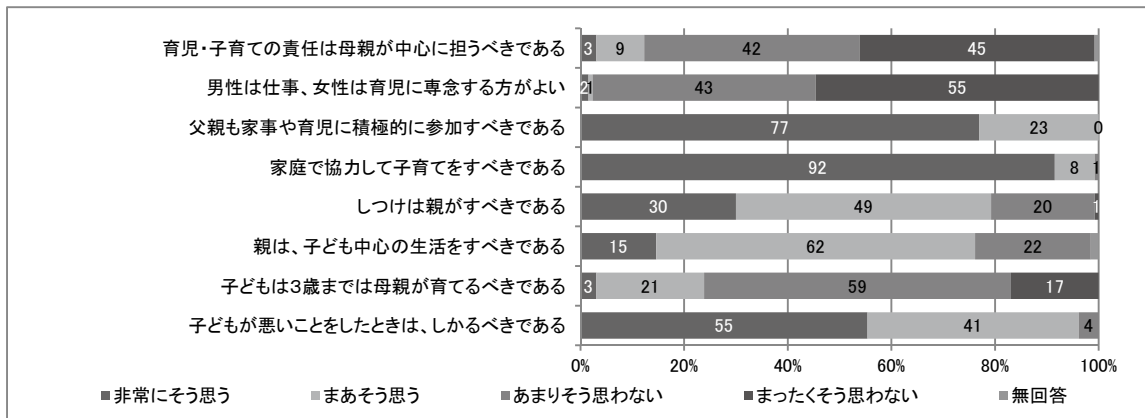


図 12 子育ての考え方 (保育者)

この設問を保育者・保護者それぞれで因子分析を行った所、両者ともほぼ同様の2因子構造であることが確認されたため、共通する項目を取り上げて合わせて因子分析を行った結果が表9である。第1因子は男女役割分担や3歳児神話といった近代的な家族観に基づいた考え方であり「近代的因子」と命名した。第2因子は親の責任を強調するような近年強まってきた家庭教育に対する期待を込めた近代的な考え方であり「近代的因子」と命名した。

表 9 子育ての考え方因子分析

	近代的因子	近代的因子
男性は仕事、女性は育児に専念する方がよい	.826	.032
育児・子育ての責任は母親が中心に担うべきである	.534	-.020
子どもは3歳になるまで育児に専念するのがよい	.503	.219
父親も家事や育児に積極的に参加すべきである	-.401	.293
家庭で協力して子育てをすべきである	-.100	.735
しつけは親がすべきである	.222	.438
因子相関行列	1	1.000
	2	-.096

因子抽出法: 主因子法 回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

ここで得られた因子得点を用いて、t検定を行ったところ、両因子で有意な差がみられた(表10)。このことから、保育者よりも保護者が近代的な考え方が強く、近代的な考え方が弱いということが言える。また保護者のクラスター別では、近代的因子だけに期待層と無関心層で有意性が確認されたが、保育者との間の差ほどではない。

表 10 子育ての考え方の差異 (因子得点)

	n	平均値	標準偏差	
近代的因子	保育者	129	-0.278	0.791
	保護者	392	0.092	0.881
				t=-4.239***
近代的因子	保育者	129	0.191	0.573
	保護者	392	-0.063	0.843
				t=3.847***

表 11 保護者クラスター別子育ての考え方の差異 (因子得点)

	n	平均値	標準偏差	f=2.529
近代的因子	満足層	80	-0.153	0.713
	不満足層	68	0.207	0.802
	期待層	83	0.100	0.929
	無関心層	143	0.134	0.974
				f=3.667** Bonferroni で有意なペア
近代的因子	満足層	80	0.064	0.869
	不満足層	68	-0.167	0.846
	期待層	83	0.157	0.718
	無関心層	143	-0.167	0.849

次に子育ての認識を示したものが図13(保護者)、図14(保育者)である。子育ての認識については、「子育ては自分の成長につながる」という項目で最も肯定する割合が高く、保護者で

55%，保育者で70%が「非常にそう思う」と回答している。この項目のように、保育者の方が保護者よりも子育てをよいものとする傾向が強い。項目の言い回しが若干異なるため留保つきであるが、保育者が子育てをより肯定的に捉えているからといって、否定的なものとしていないわけではない。他人の目や育児情報が気になるのは保育者の方が多く、経済的負担感や悩み・不安も保護者と変わらない。むしろ肯定的で大切なものと考えからこそ不安が大きいという可能性を示している。

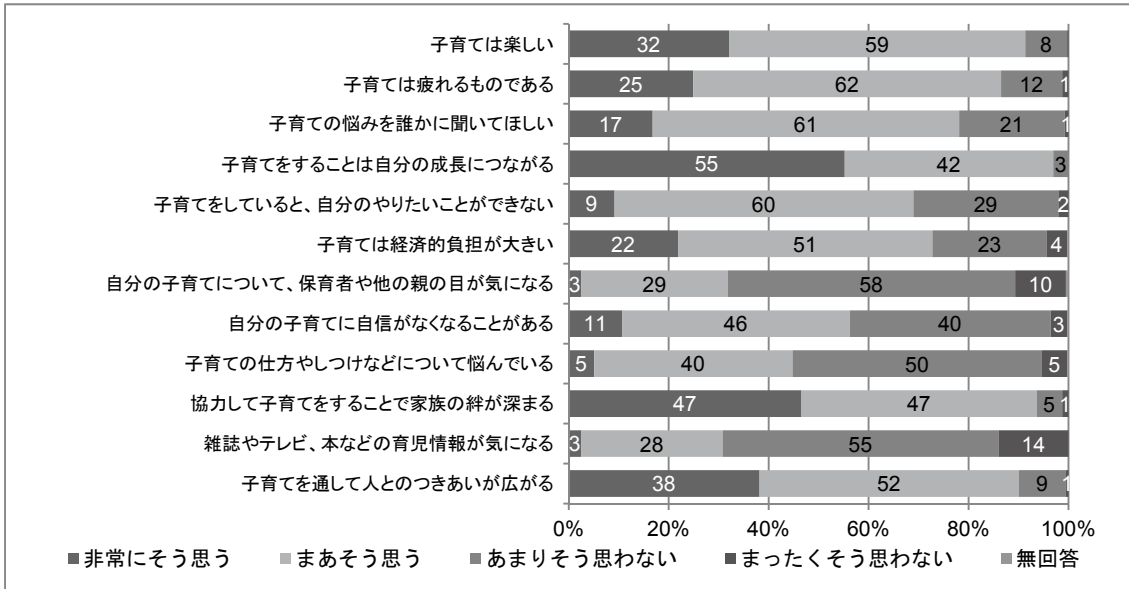


図 13. 子育ての認識（保護者）

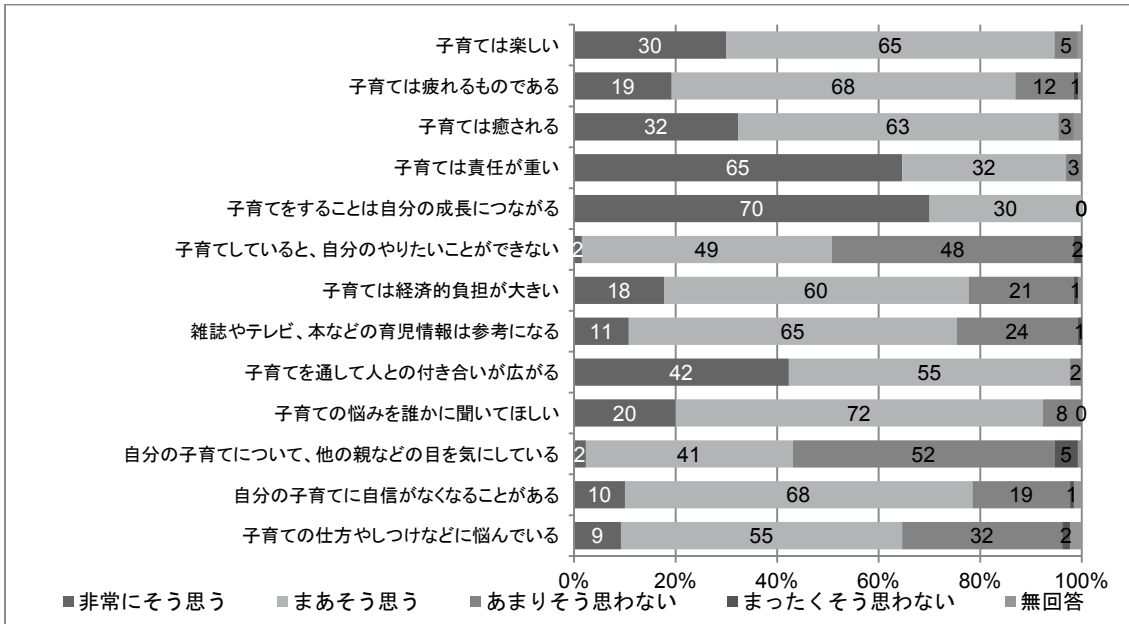


図 14. 子育ての認識（保育者）

考え方と同様、それぞれに因子分析を行った結果、保護者では3因子構造、保育者では2因子構造となった。ただこれは保護者で相関の高かった2因子が保育者においては統合された結果であったため、因子構造自体が異なるとは考えられず、ここでも保育者と保護者の統合デー

タを用いて因子分析を行い、表11の通り「不安因子」「肯定因子」「疲労因子」の3因子を得た。

ここで得られた3因子の得点を用いて保育者と保護者でt検定を行った結果が表12である。疲労因子では有意な差は見られなかったが、不安因子得点・肯定因子得点は保育者が有意に高いことが明らかとなった。不安でかつ前向きに子育てを捉えて行こうとする保育者のまじめさが現れていると考えられる。保護者のクラスター別では不満足層の不安因子(対満足層・無関心層)と疲労因子(対満足層・無関心層)が高く、肯定因子(対満足層・期待層)が低いことが確認された(表13)。

表11 子育ての認識因子分析

	不安因子	肯定因子	疲労因子
子育ての仕方やしつけなどについて悩んでいる	.828	-.070	-.103
自分の子育てについて自信がなくなることがある	.780	-.063	.015
自分の子育てについて、保護者や他の親の目が気になる	.563	-.031	.066
子育ての悩みを聞いてほしい	.435	.274	.156
子育てをすることは自分の成長につながる	.051	.698	-.008
子育ては楽しい	-.183	.538	-.012
子育てを通して人とのつき合いが広がる	.040	.527	-.050
子育てをしていると、自分のやりたいことができない	-.109	-.117	.630
子育ては疲れるものである	.112	.033	.457
子育ては経済的負担が大きい	.116	.012	.371
因子相関行列	1	1.000	.016
	2	.016	1.000
	3	.452	-.167
			1.000

因子抽出法: 主因子法 回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

表12 子育ての認識の差異(因子得点)

	N	平均値	標準偏差	
不安因子	保育者	125	0.320	0.808
	保護者	389	-0.100	0.908
t=4.939***				
肯定因子	保育者	125	0.196	0.692
	保護者	389	-0.060	0.841
t=3.442***				
疲労因子	保育者	125	-0.080	0.712
	保護者	389	0.024	0.780
t=-1.26				

表13 保護者クラスター別子育ての認識の差異(因子得点)

	N	平均値	標準偏差	
不安因子	満足層	80	-0.231	0.964
	不満足層	68	0.271	0.947
	期待層	83	0.029	0.893
	無関心層	143	-0.281	0.821
f=7.046*** Bonferroni で有意なペア				
肯定因子	満足層	80	0.259	0.814
	不満足層	68	-0.448	0.965
	期待層	83	0.389	0.632
	無関心層	143	-0.300	0.696
f=24.706*** Bonferroni で有意なペア				
疲労因子	満足層	80	-0.097	0.708
	不満足層	68	0.322	0.782
	期待層	83	0.019	0.848
	無関心層	143	-0.027	0.765
f=4.198*** Bonferroni で有意なペア				

5. まとめと課題

保育者と保護者の間で、規範意識は変わらなかった。さらに保育者との関係性が良好な保護者の規範意識は高く(因果関係は逆かもしれない)、良好でない保護者の規範意識は低かった。今回の分析ではまだ確定的なことは言えないが、保育者は規範意識の高い保護者と低い保護者

の間で、その両者に対応しようとしているのかもしれない。あるいは保育者もまた統一された規範意識を持たず、保育者と保護者という立場の違いは規範意識と関連をもたないということかもしれない。さしあたり言えることは、保育者が保護者への支援を考える際に、保護者として一律に想定するのではなく、保育者との関係性を踏まえたうえで支援を行うことが必要であるということである。

一方子育てに対する考え方では、保育者は保護者よりも近代的な考え方をせず、現代的な考え方をしており、子育てに対する認識も肯定的でかつ不安をもつ傾向があった。子育ての私事化が進む中で、少ない資源で子育てを遂行するためには、子育てが肯定的なことである必要がある。また不安も持つことも、それ自体は否定的なことかもしれないが、よりよい保育を遂行するためには不安を動因とした子育ての改善が必要とも言える。本論ではそれらは相対的な位置を示したものにすぎず、保育者の肯定感や不安感が過剰なものであるかどうかは検討されていない。

それにしても注意が必要なのは、今回の分析で不満足層と無関心層に分類された保護者である。不満足層は子育て不安が高く、肯定感が少なく疲労感が高い。実際に手助けをしてくれる人も比較的少なく、支援を欲しているが故に保育者の対応に不満を持っていると推察できる。無関心層もまた保育者とはすれ違っているのであるが、こちらはむしろ（意識の上では）支援を必要としていない。規範意識も比較的低く、そもそも保育者に要望することが少ない。これらの社会経済的要因についてさらに検討し、具体的な支援のあり方を考察することが課題として残されている。

大谷直史（鳥取大学大学教育支援機構）

奥野隆一（鳥取大学地域学部）

〈資料〉

保護者調査（育）は、保育者と同じ設問										(%)		
問1 お子さんから見たあなたの続柄を教えてください。	母親	父親	その他							無回答	総計	
	93.6	5.9	0.5								100.0	
問2 一緒に住んでいるご家族の、お子さんから見た続柄を教えてください。	父親	母親	兄弟	姉妹	祖父	祖母	曾祖父	曾祖母	その他	無回答	総計	
	91.6	99.7	76.3	50.9	56.7	4.6	15.5	13.0				
問3 保育所に通っているお子さんの現在の年齢をおたずねします。（子ども数を算出）	1人	2人	3人	4人	無回答						総計	
	34.6	42.0	19.8	3.1	0.5						100.0	
問3 保育所に通っているお子さんの現在の年齢をおたずねします。（末子年齢を算出）	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	無回答			総計	
	3.3	11.5	14.5	24.7	24.2	17.6	3.8	0.5			100.0	
問3 保育所に通っているお子さんの現在の年齢をおたずねします。（長子年齢を算出）	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上	無回答		総計	
	1.5	5.6	8.7	19.6	28.5	28.2	6.4	1.0	0.5		100.0	
問4 普段、ご家庭で主に子どもの世話をされている方は、どなたですか。	母親と父親で協同	母親中心	父親中心	祖母または祖父中心	その他						無回答	総計
	41.7	39.2	0.0	9.4	8.7						1.0	100.0
問5 普段、ご家庭で家事を担当されている方は主にどなたですか。	母親と父親で協同	母親中心	父親中心	祖母または祖父中心	その他						無回答	総計
	13.7	53.2	0.3	19.8	13.0						0.0	100.0
問6 普段、保育所までのお子さんの送迎をされるのは主にどなたですか。（登所時）	母親	父親	祖母	祖父	その他						無回答	総計
	65.1	15.3	12.0	4.8	2.8						0.0	100.0
問6 普段、保育所までのお子さんの送迎をされるのは主にどなたですか。（降所時）	母親	父親	祖母	祖父	その他						無回答	総計
	59.0	5.1	23.7	5.9	5.1						1.3	100.0
問7 保育所以外で、気軽にお子さんを預けることができる方がいますか。	配偶者	父母	兄弟	友人	保育サービス	ない	その他				無回答	総計
	59.5	84.0	20.6	5.6	3.6	3.3	3.3				0.8	
問8 あなたは、子育てのしかたやしつけなどについて相談できる人や機関がありますか。	配偶者	自分または配偶者の父母	自分または配偶者の兄弟	友人	職場の同僚	保育者	医師	保健師	子育て支援センター	その他	全くない	総計
	80.9	76.6	33.3	58.0	36.9	32.8	8.1	8.4	3.3	1.5	1.5	
問9-1 あなたは、普段はお子さんや子育てのことについて、誰かと話をすることがありますか。	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない	無回答						総計	
	66.7	30.0	2.5	0.5	0.3						100.0	
問9-2 それはどんな方ですか。（問9-1「よくある」「ときどきある」のみ）	配偶者	自分の母親	自分の父親	自分の兄弟	配偶者の母親	配偶者の父親	友人	保育者	その他	無回答		総計
	78.4	63.9	14.5	28.2	31.0	6.1	51.9	14.5	4.3	1.3		
問9-3 それはなぜですか。（問9-1「ほとんどない」「全くない」のみ）	時間が足りないから	話せる人から	自分には必要ないから	その他	無回答						総計	
	41.7	41.7	16.7	8.3	16.7						100.0	
問10 あなたは、子ども全般について、どのようなイメージをお持ちですか。	非常に思う	まあ思う	あまり思う	まったく思わない	無回答						総計	
①子どもは明るく楽しい存在である（育）	69.7	29.3	0.5	0.0	0.5						100.0	
②どの子どももかわい（育）	44.0	48.1	7.4	0.0	0.5						100.0	
③子どもは自分の思いどおりになる（育）	0.0	4.1	57.8	37.7	0.5						100.0	
④（あなたが）好きになれない子どもがいてもやむをえない（育）	3.3	49.1	33.3	12.5	1.8						100.0	
⑤子どもは自分勝手である（育）	8.1	53.9	32.3	4.6	1.0						100.0	
⑥子どもに対してイライラすることがある（育）	8.1	65.1	25.2	1.0	0.5						100.0	
問11 あなたは、「子育て」について、どのように考えていますか。	非常に思う	まあ思う	あまり思う	まったく思わない	無回答						総計	
①育児・子育ての責任は母親が中心に担うべきである（育）	1.5	17.0	56.0	25.2	0.3						100.0	
②男性は仕事、女性は育児に専念する方がよい（育）	0.8	7.6	48.9	42.5	0.3						100.0	
③父親も家事や育児に積極的に参加すべきである（育）	58.3	38.2	3.1	0.3	0.3						100.0	
④子どもは3歳になるまで育児に専念するのがよい（育）	4.3	27.7	49.6	18.1	0.3						100.0	
⑤親は子育てに責任がある（育）	77.4	22.4	0.3	0.0	0.0						100.0	
⑥家庭で協力して子育てをすべきである（育）	77.6	21.9	0.3	0.3	0.0						100.0	
⑦しつけは親がすべきである（育）	34.6	52.4	12.5	0.5	0.0						100.0	
⑧親は、子ども中心の生活をすべきである（育）	12.0	54.7	30.5	2.0	0.8						100.0	
⑨嫌いな食べ物は残してもよい	0.8	13.0	60.6	25.4	0.3						100.0	
⑩子どもが悪いことをしたときは、しかるべきである	72.5	25.4	1.5	0.3	0.3						100.0	
問12 あなたは、「子育て」について、日頃、どのように感じていますか。	非常に思う	まあ思う	あまり思う	まったく思わない	無回答						総計	
①子育ては楽しい（育）	32.1	59.3	8.4	0.3	0.0						100.0	
②子育ては疲れるものである（育）	24.9	61.6	12.2	1.3	0.0						100.0	
③子育ての悩みを誰かに聞いてほしい（育）	16.8	61.3	21.1	0.8	0.0						100.0	
④子育てをすることは自分の成長につながる（育）	55.2	41.7	3.1	0.0	0.0						100.0	
⑤子育てをしていると、自分のやりたいことができない（育）	9.2	59.8	29.0	2.0	0.0						100.0	

大谷直史 他：保育者と保護者の関係と関連要因

⑥子育ては経済的負担が大きい(育)	21.9	50.9	22.9	4.1	0.3	100.0			
⑦自分の子育てについて、保育者や他の親の目が気になる(育)	2.5	29.3	57.5	10.2	0.5	100.0			
⑧自分の子育てに自信がなくなることがある(育)	10.7	45.5	40.2	3.3	0.3	100.0			
⑨子育ての仕方やしつけなどについて悩んでいる(育)	5.1	39.7	49.9	5.1	0.3	100.0			
⑩協力して子育てをすることで家族の絆が深まる	46.6	47.1	5.1	1.3	0.0	100.0			
⑪雑誌やテレビ、本などの育児情報が気になる(育)	2.5	28.2	55.2	14.0	0.0	100.0			
⑫子育てを通して人とのかつきあいが広がる(育)	38.2	51.9	9.4	0.5	0.0	100.0			
問 13 保育所や保育者に対するあなたの考えについておたずねします。									
	非常に そう思 う	まあ そう 思う	あまり そう思 わない	まったく そう思 わない	無回答	総計			
①親と保育者は、子どもの成長を喜び合うことができる	41.0	55.7	3.1	0.3	0.0	100.0			
②保育者と親が信頼関係を築くことは大切である	53.9	44.5	1.5	0.0	0.0	100.0			
③保育所でしつけをするべきである(育)	2.8	50.6	43.5	2.8	0.3	100.0			
④親と保育者は、協力して子育てをするべきだ	21.6	65.4	12.7	0.3	0.0	100.0			
⑤保育者に子育ての悩みを相談したい	10.4	64.4	23.7	1.0	0.5	100.0			
⑥子どもがわるいことをしたときは、保育者にもしかってほしい	53.7	44.5	1.5	0.3	0.0	100.0			
⑦保育所や保育者に、自分の意見や要望を積極的に伝えるべきだ	9.9	64.1	26.0	0.0	0.0	100.0			
⑧保育者も一緒に子育てをしている(育)	29.5	62.6	6.4	0.0	1.5	100.0			
⑨保育者は、親や家庭のことをよく理解している	7.6	55.7	32.8	2.0	1.8	100.0			
⑩保育者はよく話を聞いてくれる	17.8	65.1	15.0	0.5	1.5	100.0			
⑪保育者と関わる(時間や気持ち)ゆとりがない	3.8	33.1	55.2	6.4	1.5	100.0			
⑫保育者には、気兼ねなく子どもや家庭のことを話せる	6.9	57.8	31.0	3.1	1.3	100.0			
⑬保育所や保育者の対応に満足している	15.0	69.7	11.7	2.0	1.5	100.0			
⑭もっと保育サービスを充実させてほしい	7.1	35.4	52.2	3.3	2.0	100.0			
⑮もっと保育者と関わる機会がほしい	5.3	39.4	51.7	1.8	1.8	100.0			
⑯保育士はもっと専門性を高めていくべきだ	3.6	37.4	52.9	3.3	2.8	100.0			
⑰保育者から子育てについて何かアドバイスがほしい	5.3	49.9	39.7	3.3	1.8	100.0			
問 14 子どもが起床する時間は、何時が適切ですか。	午前6 時ごろ	午前6 時30 分ごろ	午前7 時ごろ	午前7 時30 分ごろ	午前8 時ごろ	午前8 時30 分ごろ	午前9 時ごろ	無回答 1.5	総計 100.0
問 15 お子さんの平日の起床時間は、だいたい何時頃ですか。	～6 時半	午前6 時半～ 7時頃	午前7 時半頃	午前7 時～8 時半頃	午前8 時半頃	午前8 時半 以降		無回答 1.3	総計 100.0
問 16 子ども「遅寝」は、何時以降のことだと思いますか。	午後8 時以降	午後8 時半以降	午後9 時以降	午後9 時半以降	午後10 時以降	午後10 時半以降	午後11 時以降	無回答 1.3	総計 100.0
問 17 お子さんの睡眠・朝食について、あなたはどのように考えていますか。									
	非常に そう思 う	まあ そう 思う	あまり そう思 わない	まったく そう思 わない	無回答	総計			
①子どもが寝ようとしないうちに、寝るのが遅くなくても仕方がないと思う(育)	0.5	12.7	57.5	28.0	1.3	100.0			
②子どもと関わる時間が必要だから、遅く寝ても仕方がない(育)	0.3	5.9	62.3	30.3	1.3	100.0			
③遅寝は、子どもの1日の活動の意欲・集中力の低下につながると思う(育)	49.9	44.0	4.1	0.5	1.5	100.0			
④遅寝は、子どもの1日の情緒不安定につながると思う(育)	37.2	46.1	15.0	0.3	1.5	100.0			
⑤子どもは、早く寝るべきだと思う(育)	56.0	40.7	1.8	0.3	1.3	100.0			
⑥朝食は、子どもが食べたくないなら食べなくてもよいと思う(育)	0.5	4.1	38.7	55.5	1.3	100.0			
⑦朝が、時間がないから、子どもが朝食を食べないのは仕方がないと思う(育)	0.3	2.0	33.1	63.4	1.3	100.0			
⑧朝食は内容を考え、バランス良く食べることが大切だと思う(育)	38.2	52.9	6.9	0.5	1.5	100.0			
⑨朝食としてお菓子(スナック・チョコ類)を食べることに抵抗はない(育)	2.3	4.1	18.8	74.3	0.5	100.0			
⑩朝食を食べないことは、子どもの1日の活動の意欲・集中力の低下につながると思う(育)	64.9	32.3	1.3	0.8	0.8	100.0			
⑪朝食を食べないことは、子どもの1日の情緒不安定につながると思う(育)	50.9	40.2	7.4	0.8	0.8	100.0			
⑫朝食は毎日食べるべきだと思う(育)	83.5	15.8	0.3	0.0	0.5	100.0			
問 18 あなたのお子さんの保育所生活について。									
	非常に そう思 う	まあ そう 思う	あまり そう思 わない	まったく そう思 わない	無回答	総計			
①保育所で、子どもに思い切り活動してほしい	80.2	19.1	0.3	0.0	0.5	100.0			
②保育者には、家庭での睡眠や朝食のことに口出しされたくない	0.3	10.9	59.0	29.0	0.8	100.0			
③保育者に、子どもの生活リズムに関することを言われたら、直そうという気持ちになる	31.3	63.6	3.3	0.5	1.3	100.0			
④保育者は、家庭のことを同じ目線で考えてくれていると思う	11.5	62.6	22.4	2.8	0.8	100.0			
⑤保育所は、親の要望に応えるべきである(保)	0.5	44.5	50.6	3.1	1.3	100.0			
問 19 お子さんの平日の就寝時刻は、だいたい何時頃ですか	～午 後8 時頃	午後8 時半頃	午後8 時半～ 9時頃	午後9 時半～ 9時頃	午後9 時半～ 10時頃	午後10 時半頃	午後10 時半～ 11時 以降	無回答 0.5	総計 100.0

問 20 お子さんの就寝時間はちよ うどよいと思いますか	非常に そう思 う	まあ そう思 う	あまり そう思 わない	まったく そう思 わない		無回答	総計			
	4.8	46.6	38.7	9.4		0.5	100.0			
問 21 なぜそう思われたのです か。(問 20「あまりそう思わな い」「全くそう思わない」のみ) (複数回答)	子ども が寝よ うとし ない	父(母) の帰りを 待って いる	大人が 遅くま で起き ている から	ついダ ラダラ してし まう	子ども が早く 寝る	帰宅時 間が遅 いから	夜しか子 どもとふ れあう時 間がない その他	無回答	総計	
	46.0	11.1	23.3	30.2	0.0	25.9	10.1	15.3	1.6	100.0
問 22 お子さんの朝食の状態を おたずねします。	毎日食 べてい る	週4~ 6日食 べてい る	週2~ 3日食 べてい る	週1日 食べて いる	食べ てい ない				無回答	総計
	95.7	3.3	0.3	0.3	0.0				0.5	100.0
問 23 お子さんの朝食を食べる 場所は、多くの場合どこです か。(問 24「食べていない」以 外)	家	保育所に 向かい ながら 食べる	保育所 内につ いては 食べる	その 他					無回答	総計
	96.2	0.3	0.0	1.3					2.3	100.0
問 24 お子さんの朝食が菓子パ ンやお菓子になることはあり ますか。(問 24「食べていない」 以外)	よく ある	時々 ある	あま りな い	全く ない					無回答	総計
	7.9	26.5	31.9	31.4					2.3	100.0
問 25 お子さんが朝食を食べな いときの理由は何ですか。(問 24「毎日食べている」以外)(複 数回答)	子ども が食べ ようと しない	食べ る時 間が ない	朝食の 準備が できて いない	食べな い習慣 である	その 他				無回答	
	84.0	20.0	4.0	8.0	16.0				16.0	
問 26 食事に関して、現在、保 育所からどのような対応があ りますか。(複数回答)	必要 な時 に食 事を 聞き 取る	睡眠の 工夫を 提案し てくれ る	子ども の保育 所で 寝る 言われ る	お昼寝 の時間 を調整 してく れる	子ども の状態 を見て 対応す る	特 に ない	その 他		無回答	
	33.3	16.0	52.7	12.5	9.4	22.9	3.3		3.6	
問 27 寝る時間や睡眠について、 現在、保育所からどのような支 援がありますか。(複数回答)	必要 な時 に食 事を 聞き 取る	睡眠の 工夫を 提案し てくれ る	子ども の保育 所で 寝る 言われ る	お昼寝 の時間 を調整 してく れる	子ども の状態 を見て 対応す る	特 に ない	その 他		無回答	
	23.9	5.6	33.6	5.9	15.0	39.9	2.0		5.1	
問 28 お子様には、小学校に入学ま でに、自分一人でするよう に育てたいですか。	非常に そう思 う	まあ そう思 う	あまり そう思 わない	まったく そう思 わない					無回答	総計
① 決まった時間に朝起きたり、夜寝たりすることができる(育)					50.6	44.5	3.3	0.3	1.3	100.0
② 家族やまわりの人にあいさつやお礼ができる					80.2	16.8	2.0	0.0	1.0	100.0
③ トイレでの排泄や、そのあとしまつができる(育)					74.0	23.7	1.0	0.0	1.3	100.0
④ 食事をこぼさず、ぎょうぎよく食べることができる(育)					52.4	42.7	3.3	0.3	1.3	100.0
⑤ はみがきの習慣ができていく(育)					71.2	27.2	0.5	0.0	1.0	100.0
⑥ おふろで身体を洗うことができる					42.2	49.9	5.3	0.3	2.3	100.0
⑦ 遊んだあとの片づけができる(育)					71.0	24.4	1.8	0.5	2.3	100.0
⑧ 家のお手伝いができる					36.1	56.0	5.3	0.3	2.3	100.0
⑨ 翌日のしたくや準備ができる					46.1	45.3	5.3	1.0	2.3	100.0
⑩ 約束を守ること(テレビやあそび時間)ができる(育)					58.8	35.6	2.8	0.5	2.3	100.0
⑪ 列車やバスの中や公民館の集まりでさわがないことができる					48.3	43.0	5.3	1.0	2.3	100.0
⑫ 衣服を脱いだり着たりすることができる(育)					67.7	29.3	0.3	0.5	2.3	100.0
問 29 あなたは、保育園に対して、次のようなしつけや教育をどのく らい期待しますか。	非常に そう思 う	まあ そう思 う	あまり そう思 わない	まったく そう思 わない					無回答	総計
① ぎょうぎよく食事をする(育)					22.9	71.5	2.8	0.5	2.3	100.0
② あいさつやお礼がきちんといえること					51.1	44.5	1.5	0.5	2.3	100.0
③ ルールや決まりを守ること					58.8	38.2	0.5	0.3	2.3	100.0
④ 規則正しい生活リズムを身につけること					32.6	59.5	5.1	0.5	2.3	100.0
⑤ 遊んだあとの片づけができる(育)					50.9	45.3	1.0	0.5	2.3	100.0
⑥ 思いやりや道徳心を育てること					56.0	39.9	1.5	0.3	2.3	100.0
⑦ 友だちと仲良くすること(育)					64.9	32.8	0.0	0.3	2.0	100.0
⑧ 人の話を聞いたり、自分の気持ちを相手に伝えたりするこ と(育)					56.0	40.2	1.3	0.3	2.3	100.0
⑨ こどもの興味・関心をのばすこと					43.0	49.1	5.1	0.5	2.3	100.0
⑩ 文字や数を教えること(育)					16.3	54.7	23.9	2.8	2.3	100.0
⑪ 運動能力や体力を高めること					32.8	55.7	8.1	1.0	2.3	100.0
⑫ 音楽や美術など芸術面の才能を伸ばすこと					15.8	52.4	25.7	3.8	2.3	100.0
問 30 祖父母が同居または近隣にお住まいの方におたずねします。	非常に そう思 う	まあ そう思 う	あまり そう思 わない	まったく そう思 わない					無回答	総計
① あなたは、子育てする上で祖父母の援助が必要だ					51.0	34.2	7.5	0.5	6.7	100.0
② 祖父母の子育てアドバイスは役に立っている					26.2	45.9	19.2	1.8	7.0	100.0
③ 祖父母に子どもの世話を任せても安心だ					32.4	44.3	14.5	2.1	6.7	100.0
④ 祖父母は子どもを大切にしてくれる					59.1	30.6	3.1	0.5	6.7	100.0
⑤ 子育てをめぐって、祖父母と意見の違いがある					6.7	37.3	41.5	7.8	6.7	100.0

大谷直史 他：保育者と保護者の関係と関連要因

⑥ 祖父母は細かいことまで口出しすぎる	5.2	24.6	46.6	16.8	6.7	100.0						
⑦ 父母は子どものいいなりになりすぎる	3.1	19.7	56.0	13.5	7.8	100.0						
⑧ 祖父母の子どもと関わりたい気持ちをお大切にしたい	34.7	51.3	3.9	1.6	8.5	100.0						
問 31 あなたの年齢を教えてください。	24歳以下 4.6	25～29歳 14.5	30～34歳 30.5	35～39歳 36.6	40歳以上 12.2	無回答 1.5	総計 100.0					
問 32 あなたの職業について教えてください。	会社員 42.7	自営業(農業、林業を含む) 6.4	公務員(保育・福祉関係を除く) 9.2	保育士・幼稚園教員 3.6	老人福祉施設職員 2.5	休職中 8.4	無職 3.8	その他 9.4	12.5	1.5	無回答 1.5	総計 100.0
問 33 あなたの勤務先における雇用形態を教えてください。	正規職員 42.7	非正規職員 37.4	その他 4.1								無回答 15.8	総計 100.0
問 34 あなたは、平日、自宅を出る時間は、だいたい何時ごろですか。	午前6時30分以前 1.0	午前6時30分～7時頃 3.1	午前7時～7時30分頃 15.5	午前7時30分～8時頃 23.9	午前8時～8時30分頃 21.1	午前8時30分～9時頃 6.4	午前9時～9時30分頃 2.8	午前9時30分以降 3.1	決まっている 8.7	いない 2.8	その他 2.8	無回答 11.7
問 35 あなたの平日の帰宅時間は、だいたい何時ごろですか。勤務終了後、保育所等にお迎えに行く場合も家につく時間で記入ください。	午後5時以前 19.3	午後5時～6時頃 22.4	午後6時～7時頃 24.7	午後7時～8時頃 7.4	午後8時～9時頃 3.1	午後9時～10時頃 0.3	午後10時以降 1.3	決まっている 7.9	いない 2.8	その他 10.9	無回答 10.9	総計 100.0

保育者調査

問 1 あなたの勤務先における雇用形態を教えてください。	正規 53.8	非正規 46.2										総計 100.0					
問 2 あなたの勤続年数を教えてください。	5年未満 18.5	5年以上10年未満 23.8	10年以上15年未満 11.5	15年以上20年未満 15.4	20年以上25年未満 6.2	25年以上30年未満 6.9	30年以上35年未満 9.2	35年以上 4.6			無回答 3.8	総計 100.0					
問 3 あなたの担当クラスを教えてください。	所長 8.5	主任 4.6	0歳児クラス 6.9	1歳児クラス 6.2	2歳児クラス 5.4	3歳児クラス 9.2	4歳児クラス 6.9	5歳児クラス 9.2	混合クラス 0.8	混合クラス(0～2) 10.8	混合クラス(0～3) 6.9	フリー 3.1	加配 4.6	給食担当 14.6	その他 1.5	無回答 0.8	総計 100.0
問 4 あなたはどのような資格・免許をお持ちですか。	保育士 87.7	幼稚園 72.3	小学校 1.5	中学校 0.8	高校 0.0	特別支援 1.5	介護福祉士 0.8	福祉士 0.0	保健師 0.0	調理師 24.6	その他 11.5						
問 5 あなたは、子ども一般に対してどんなイメージや考えをお持ちですか。					非常に思う 57.7	まあ思う 41.5	あまり思う 0.8	まったく思う 0.0					無回答 0.0	総計 100.0			
① 子どもは明るく楽しい存在である					60.8	37.7	1.5	0.0					0.0	100.0			
② どの子どももかわいい					0.8	2.3	58.5	38.5					0.0	100.0			
③ 子どもは自分の思いどおりになる					2.3	31.5	47.7	17.7					0.8	100.0			
④ (あなたが)好きになれない子どもがいてもやむをえない					3.1	50.8	39.2	4.6					2.3	100.0			
⑤ 子どもは自分勝手である					1.5	36.2	56.9	3.1					2.3	100.0			
⑥ 子どもに対してイライラすることがある																	
問 6 あなたは、子育てについて、どのように考えていますか。					非常に思う 3.1	まあ思う 9.2	あまり思う 41.5	まったく思う 45.4					無回答 0.8	総計 100.0			
① 育児・子育ての責任は母親が中心に担うべきである					1.5	0.8	43.1	54.6					0.0	100.0			
② 男性は仕事、女性は育児に専念する方がよい					76.9	23.1	0.0	0.0					0.0	100.0			
③ 父親も家事や育児に積極的に参加すべきである					91.5	7.7	0.8	0.0					0.0	100.0			
④ 家庭で協力して子育てをすべきである					30.0	49.2	20.0	0.8					0.0	100.0			
⑤ しつけは親がすべきである					14.6	61.5	22.3	0.0					1.5	100.0			
⑥ 親は、子ども中心の生活をすべきである					3.1	20.8	59.2	16.9					0.0	100.0			
⑦ 子どもは3歳までは母親が育てるべきである					55.4	40.8	3.8	0.0					0.0	100.0			
⑧ 子どもが悪いことをしたときは、しかるべきである																	
問 7 あなたは、子育てについて、どのようなイメージをお持ちですか。					非常に思う 30.0	まあ思う 64.6	あまり思う 4.6	まったく思う 0.0					無回答 0.8	総計 100.0			
① 子育ては楽しい					19.2	67.7	11.5	0.8					0.8	100.0			
② 子育ては疲れるものである					32.3	63.1	3.1	0.0					1.5	100.0			
③ 子育ては癒される					64.6	32.3	3.1	0.0					0.0	100.0			
④ 子育ては責任が重い					70.0	30.0	0.0	0.0					0.0	100.0			
⑤ 子育てをすることは自分の成長につながる					1.5	49.2	47.7	1.5					0.0	100.0			
⑥ 子育てをしていると、自分のやりたいことができない					17.7	60.0	20.8	0.8					0.8	100.0			
⑦ 子育ては経済的負担が大きい					10.8	64.6	23.8	0.8					0.0	100.0			
⑧ 雑誌やテレビ、本などの育児情報は参考になる																	

⑨子育てを通して人との付き合いが広がる	42.3	55.4	2.3	0.0	0.0	100.0					
⑩子育ての悩みを誰かに聞いてほしい	20.0	72.3	7.7	0.0	0.0	100.0					
⑪自分の子育てについて、他の親などの目を気にしている	2.3	40.8	51.5	4.6	0.8	100.0					
⑫自分の子育てに自信がなくなることがある	10.0	68.5	19.2	0.8	1.5	100.0					
⑬子育ての仕方やしつけなどに悩んでいる	9.2	55.4	31.5	1.5	2.3	100.0					
問8 子どもが起床する時間は、何時が適切ですか。	午前6時頃	午前6時30分頃	午前7時頃	午前7時30分頃	午前8時頃	午前8時30分頃	午前9時頃	その他	総計		
	4.6	51.5	41.5	1.5	0.0	0.8	0.0	0.0	100.0		
問9 子どもの「遅寝」は、何時以降のことだと思いますか。	午後8時以降	午後8時30分以降	午後9時以降	午後9時30分以降	午後10時以降	午後10時30分以降	午後11時以降	その他	総計		
	0.8	3.1	17.7	26.2	42.3	7.7	2.3	0.0	100.0		
問10 あなたは、子どもは何時ごろ寝るのがよいと思われませんか。	午後7時頃	午後7時30分頃	午後8時頃	午後8時30分頃	午後9時頃	午後9時30分頃	午後10時頃	午後10時30分頃	午後11時頃	その他	総計
	0.0	0.0	4.6	20.8	60.8	11.5	2.3	0.0	0.0	0.0	100.0
問11 子どもの就寝・朝食について、あなたはどのように考えていますか。	非常に思う	まあ思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答	総計					
①子どもが寝ようとしないうら、寝るのが遅くても仕方がないと思う	0.0	4.6	64.6	30.8	0.0	100.0					
②子どもと関わる時間が必要だから、遅く寝ても仕方がない	0.0	3.1	70.8	26.2	0.0	100.0					
③遅寝は、子どもの1日の活動の意欲・集中力の低下につながると思う	66.9	30.0	1.5	0.8	0.8	100.0					
④遅寝は、子どもの1日の情緒不安定につながると思う	49.2	42.3	6.2	2.3	0.0	100.0					
⑤子どもは、早く寝るべきだと思う	50.8	46.2	1.5	0.8	0.8	100.0					
⑥朝食は、子どもが食べたくないなら食べなくてもよいと思う	1.5	1.5	36.9	60.0	0.0	100.0					
⑦朝は、時間がないから、子どもが朝食を食べないのは仕方がないと思う	0.8	1.5	23.8	73.1	0.8	100.0					
⑧朝食は内容を考え、バランスよく食べることが大切だと思う	38.5	50.8	8.5	2.3	0.0	100.0					
⑨朝食としてお菓子(スナック・チョコ等)を食べることに抵抗はない	1.5	1.5	23.8	73.1	0.0	100.0					
⑩朝食を食べないことは、子どもの1日の活動の意欲・集中力の低下につながると思う	78.5	20.0	0.0	1.5	0.0	100.0					
⑪朝食を食べないことは、子どもの1日の情緒不安定につながると思う	61.5	33.8	3.1	1.5	0.0	100.0					
⑫朝食は毎日食べるべきだと思う	82.3	17.7	0.0	0.0	0.0	100.0					
⑬朝食を食べなくても、給食を食べれば大丈夫だと思う	2.3	0.0	23.1	74.6	0.0	100.0					
問12 保育者としての考えについておたずねします。	非常に思う	まあ思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答	総計					
①保育することは楽しい	43.8	52.3	0.8	0.0	3.1	100.0					
②保育士の仕事は自分に合っている	15.4	57.7	15.4	1.5	10.0	100.0					
③保育者は、子どもに対していつも愛情を抱いているものだ	27.7	68.5	0.8	0.0	3.1	100.0					
④保育者は、子どものことを最優先に考える	42.3	52.3	2.3	0.0	3.1	100.0					
⑤保育者は、保護者の規範になることが大切である	11.5	63.8	21.5	0.0	3.1	100.0					
⑥保育者は、保護者の要求にこたえることが大切である	7.7	66.2	21.5	0.0	4.6	100.0					
⑦保育者はしつけをするべきである	10.8	60.8	22.3	1.5	4.6	100.0					
⑧研修に参加したり、保育の専門書を読んだりすることは大切だ	59.2	36.9	0.8	0.0	3.1	100.0					
⑨保育士として成長するためには、経験が最も重要である	33.8	49.2	11.5	0.0	5.4	100.0					
⑩保育者は、保護者と一緒に子育てしている	61.5	33.8	1.5	0.0	3.1	100.0					
⑪保育者同士の連携が必要である	83.8	13.1	0.0	0.0	3.1	100.0					
問13 あなたの保護者に対する考え方や気持ちについておたずねします。	非常に思う	まあ思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答	総計					
①保育者は、保護者の子育てについて意見をいうことは大切である	10.0	53.1	33.8	0.0	3.1	100.0					
②保育者と保護者は、子どもの成長を喜ぶことができる	61.5	37.7	0.0	0.0	0.8	100.0					
③最近の保護者は、自分の子どものことしか考えていない	7.7	46.9	43.8	0.0	1.5	100.0					
④最近の保護者は過保護の傾向にある	7.7	64.6	26.2	0.8	0.8	100.0					
⑤最近の保護者は、きちんと子どものしつけをしている	22.3	74.6	0.0	1.5	1.5	100.0					
⑥最近の保護者は、子どものことより自分のことばかりを考える傾向がある	3.8	53.8	39.2	0.8	2.3	100.0					
⑦無理難題なことを主張する保護者がある	4.6	40.0	51.5	1.5	2.3	100.0					
⑧保育者は、家庭での子どもの生活リズムを変えることはできない	1.5	43.8	50.0	1.5	3.1	100.0					
⑨最近の保護者は、子どもが「食べたくない」「寝たくない」と言うとき聞き入れる傾向がある	13.1	74.6	11.5	0.0	0.8	100.0					
⑩遅寝の子どもの保護者には、睡眠を重視していない傾向がある	13.1	61.5	24.6	0.0	0.8	100.0					
⑪朝食抜きの子どもの保護者には、食事を重視していない傾向がある	13.1	59.2	25.4	0.0	2.3	100.0					
⑫担当クラスの保護者と信頼関係が築けていると思う	0.8	65.4	20.0	0.0	13.8	100.0					
⑬保護者の家庭や子育てについて理解をしようとしている	13.8	77.7	2.3	0.0	6.2	100.0					
⑭保護者と連絡や話し合いをする機会がほしい	13.1	69.2	7.7	0.0	10.0	100.0					

大谷直史 他：保育者と保護者の関係と関連要因

問 14 あなたは、クラスの子どもの睡眠について、どのように把握していますか。(複数回答)	連絡帳や生活記録表等を見て	保護者から聞いて	子どもの様子を見て	把握していない	その他	無回答	総計	
	93.8	38.1	35.1	1.0	1.0	2.1	100.0	
問 15 あなたのクラスに遅寝だと思ふ子どもはいますか。	いる	いない	わからない			無回答	総計	
	67.0	26.8	2.1			4.1	100.0	
問 16 遅寝の子は決まっていますか。(問 15「いる」のみ)	決まっている	だいたい決まっている	いつも異なる			無回答	総計	
	30.8	66.2	0.0			3.1	100.0	
問 17 遅寝の子どもの保育所における様子で気になることについておたずねします。(問 15「いる」のみ)	非常に思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったく思わない		無回答	総計	
① 友だちとのトラブルが多い	6.1	45.5	42.4	3.0		3.0	100.0	
② イライラしやすい	9.1	53.0	33.3	1.5		3.0	100.0	
③ 活動に集中できない	21.2	68.2	6.1	1.5		3.0	100.0	
④ 活動に意欲がない	30.3	42.4	22.7	1.5		3.0	100.0	
⑤ 遅くて食事ができない	3.0	19.7	68.2	6.1		3.0	100.0	
⑥ 朝食をよく抜いてくる	3.0	22.7	63.6	6.1		4.5	100.0	
⑦ 気になることはない	1.5	9.1	30.3	53.0		6.1	100.0	
問 18 遅寝の子どもに、保育所でどのような支援をしていますか。(問 15「いる」のみ)(複数回答)	午睡時間以外でも寝かせる	午睡時間を調整している	活動を室内にする	とくにしてい	その他	無回答	総計	
	4.3	31.9	1.4	42.0	14.5	5.8		
問 19 遅寝の子どもの保護者にはどのような支援をしていますか。(問 15「いる」のみ)(複数回答)	保護者に家庭のことで悩んでいることなどについて話を聞く	保育所での子どもの様子を保護者に伝える	睡眠の大切さについて保護者に伝える	家庭での睡眠の工夫を提案する	とくにしてい	その他	無回答	
	56.5	76.8	46.4	42.0	5.8	1.4	2.9	
問 20 あなたのクラスの子どもの朝食について、どのように把握していますか。(複数回答)	連絡帳や生活記録表等を見て	保護者から聞いて	子どもの様子を見て	把握していない	その他	無回答	総計	
	69.1	34.0	41.2	3.1	6.2	6.2		
問 21 あなたのクラスで朝食を食べてこない子どもはいますか。	いる	いない	わからない	非該当		無回答	総計	
	19.2	45.4	6.9	3.1		25.4	100.0	
問 22 朝食を食べてこない子どもは決まっていますか	決まっている	だいたい決まっている	いつも異なる			無回答	総計	
	44.0	32.0	8.0			16.0	100.0	
問 23 朝食を食べてこない子どもの保育所での様子で気になることについておたずねします。	非常に思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったく思わない		無回答	総計	
① 友だちとのトラブルが多い	8.3	37.5	37.5	4.2		12.5	100.0	
② イライラしやすい	16.7	41.7	25.0	4.2		12.5	100.0	
③ 活動に集中できない	37.5	25.0	29.2	4.2		4.2	100.0	
④ 活動に意欲がない	33.3	33.3	25.0	4.2		4.2	100.0	
⑤ 眠たそうである	20.8	25.0	45.8	4.2		4.2	100.0	
問 24 朝食を食べてこない子どもへどのような支援をしていますか。(複数回答)	おやつを多めにする	給食を多めに提供する	朝食を提案する	とくになにもしない	その他	無回答	総計	
	16.0	36.0	4.0	32.0	12.0	8.0		
問 25 朝食を食べてこない子どもの保護者にはどのような支援をしていますか。(複数回答)	保護者に家庭のことで悩んでいることなどについて話を聞く	保育所での子どもの様子を保護者に伝える	お便り等で朝食の簡単なメニュー等を提案する	朝食の工夫について提案する	朝食の大切さについて保護者に伝える	保育所で親子でご飯を食べる機会を設ける	とくにしてい	その他
	52.0	76.0	16.0	16.0	60.0	4.0	0.0	12.0

問 26 遅寝の子どもにどのような支援が必要だと思われますか。(複数回答)	午睡時間以外でも寝かせる	午睡時間を調整する	活動を室内にする	なにもしない	その他						無回答	
	6.9	41.5	2.3	8.5	13.8						37.7	
問 27 遅寝の子ども保護者にどのような支援が必要だと思いますか。(複数回答)	保護者に家庭のことに話をする	保育所での子どもの様子を伝える	睡眠の大切さに保護者に伝える	家庭での睡眠の工夫を提案する	とくにし	その他					無回答	
	63.8	75.4	68.5	62.3	0.8	1.5					2.3	
問 28 朝食を食べてこない保護者にどのような支援が必要だと思いますか。(複数回答)	給食を多めにする	朝食を多めに提供する	とくにない	その他							無回答	
	35.4	4.6	23.8	34.6							7.7	
問 29 朝食を食べてこない子どもの保護者にどのような支援が必要だと思いますか。(複数回答)	保護者に家庭のことに話をする	保育所での子どもの様子を伝える	お便り等で朝食の簡単なメニューを提案する	朝食の工夫を提案する	朝食の大切さに保護者に伝える	保育所で親子でご飯を食べる機会を設ける	とくにし	その他			無回答	
	60.0	74.6	49.2	46.2	76.2	12.3	0.0	2.3			3.1	
問 30 保育の中で大切にしていることはどのようなことですか。(4・5歳児担当のみ)					非常に思う	まあ思う	あまり思わない	まったく思わない			無回答	総計
① 決まった時間に朝起きたり、夜寝たりすることができる					30.0	52.5	2.5	0.0			15.0	100.0
② トイレでの排泄や、あとしまつができる					55.0	32.5	0.0	0.0			12.5	100.0
③ 食事をこぼさず行儀よく食べることができる					32.5	47.5	7.5	0.0			12.5	100.0
④ はみがきの習慣ができています					37.5	47.5	2.5	0.0			12.5	100.0
⑤ 遊んだあとの片付けができる					52.5	30.0	5.0	0.0			12.5	100.0
⑥ 約束を守ることができる					42.5	37.5	7.5	0.0			12.5	100.0
⑦ 衣服を脱いだり、着たりすることができる					55.0	32.5	0.0	0.0			12.5	100.0
⑧ 友達となかよくすることができる					35.0	50.0	2.5	0.0			12.5	100.0
⑨ 文字を読めたり、数を数えることができる					5.0	52.5	30.0	0.0			12.5	100.0
⑩ 人の話を聞いたり、自分の気持ちを相手に伝えることができる					57.5	27.5	7.5	0.0			7.5	100.0